

## 日本の伝統芸能を学ぶ

### 七重小で「能ワークショップ」を開催



11月24日、七重小6年生を対象に、伝統芸能である能を体験する「能ワークショップ」が開催されました。当日は、ワキ方下掛宝生流能楽師の梅村昌功先生、大鼓方葛野流能楽師の亀井洋佑先生を講師に招き、能の歴史・型（動き）や舞の説明、演目などが披露されました。その後、児童全員がお道具を使い「能の囃子」を実演。また、代表児童が能装束を着て能面をつけてもらうなど、とても貴重な体験となりました。



## 地域にメッセージ

### 「コロナに負けるな」



逆井星史さん（桐木）の自宅の庭には、マスクを付けた21匹の犬のオブジェと、新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起の看板が設置されています。

看板のメッセージは、コロナウイルスの一日も早い終息を願う奥さんが考案したもので、犬のオブジェにもマスクをつけることにより、「地域の方や市民のみなさんに、マスク着用の重要性を改めて感じてほしい」と話されていました。

## イルミネーション点灯

### コロナと闘う医療従事者へエール

12月1日、市内飲食店事業者など約30人が、岩井のメインストリート街路灯にイルミネーションを取り付けました。

今年是全国で新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、青の電飾には「コロナウイルスと闘う医療従事者の皆様へエール」を、白の電飾には「安全安心のまち」という思いを込めて設置。電飾約3万8000球が14キロメートルにわたり装飾され、冬の商店街を彩りました。

